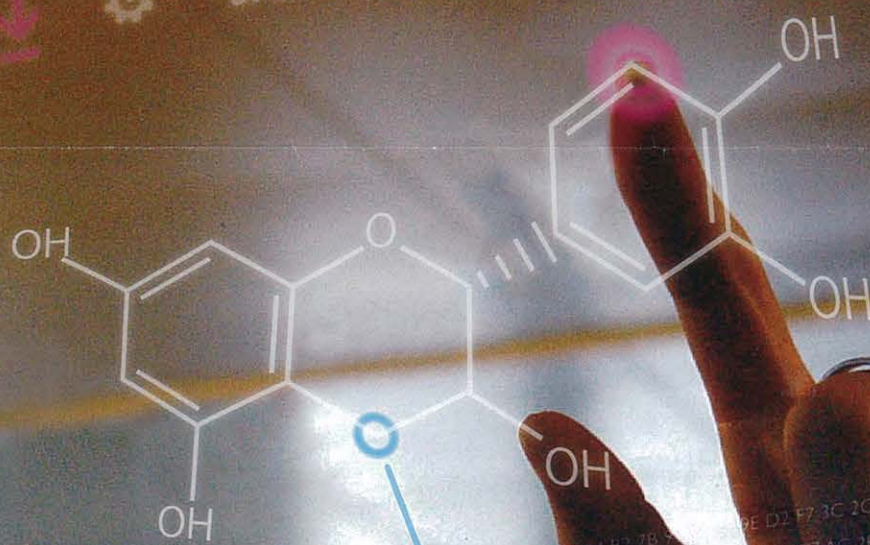


第24回わかやまテクノ・ビジネスフェア

わかやま発 技術シーズ発表会



大学や高等専門学校・公設試等における最新の研究成果や技術ノウハウ等の技術シーズを県内企業にご覧いただき、新たな共同研究連携体(産・学・官連携等)の構築による新産業の創出を目的に『第24回わかやまテクノ・ビジネスフェア わかやま発技術シーズ発表会』を開催いたします。新たな研究開発の展開を考えておられる企業の方をはじめ、産学官連携のコーディネートに関係する方など多くの方のご参加をお待ちしております。

2015年 **11月10日** 火 13:00~18:20

アバローム紀の国 2F鳳凰の間 3F孔雀の間 和歌山市湊通丁北2-1-2

主 催 公益財団法人わかやま産業振興財団

和歌山県 一般社団法人和歌山情報サービス産業協会

後 援 国立高专機構和歌山高专 一般社団法人和歌山県発明協会

■事例に学ぶ知財活用 ～成功事例・失敗事例～

中小企業は新たな産業を創出し、雇用を生み出し、地域経済社会を担う、いわば日本経済の屋台骨を支える存在です。中小企業が、大企業とも対等に渡り合い、存続・躍進していくために、知的財産の活用が必須であることは、もはや周知の事実です。

しかしながら、この活用については、何となく知財を取得すれば事業が上手くいく、知財の活用には経費がかかるという漠然とした思いを聞くことが多々あります。

本講演では、このような疑問に対する答えとなるような具体的な事例についてご紹介いたします。

これらの事例から、皆様方にはそれぞれの立場で、知的財産の活用の糸口を見つけていただければ幸いです。



国立大学法人東北大学
特任教授（客員）
特許業務法人
英知国際特許事務所
代表社員／所長弁理士
岩崎 孝治 氏

【略歴】

1974年 4月 特許庁入庁 農業、光学、電気、電子、通信、
計測分野の審査官、審判官、審査長等
2005年 10月 特許庁退官(特許審査第四部長)、弁理士登録
2007年 4月 特許業務法人英知国際特許事務所 代表社員

耳寄りな情報のご紹介

■ものづくりの新しい姿を求めて

—コンピューターを最大限に活用した

ものづくり—

14:40~15:10

和歌山県工業技術センター 機械産業部

和歌山県工業技術センターでは、県内製造業の製品開発をサポートするために、「3Dスマートものづくり」の取り組みを推進しています。

「スマートものづくり」は、3DプリンターやCAE(コンピュータシミュレーション)を活用することにより、製品開発のコスト低減を目的としています。

和歌山県工業技術センターでは、これらの共用設備の増強(地域オープンイノベーション促進事業)を図るとともに、人材育成を目的とした3次元CADスクールを開催しています。

今回は、3DプリンターやCAEの具体的な活用事例を交え、本取り組みの実施状況や成果について報告します。

■バッテリー戦略研究センターの紹介

15:10~15:40

大阪府商工労働部 バッテリー戦略研究センター

関西イノベーション国際戦略総合特区事業である「バッテリー戦略研究センター」では、大阪・関西が強みを持つバッテリー関連(蓄電池、水素・燃料電池)産業のビジネスの創出に向け、①需要創出と新たな用途展開、②国際競争力強化に向けたビジネス環境の整備、③国際ビジネス創出拠点の形成、などに取り組んでいます。

具体的には、大阪の咲洲地区に建設中の大型蓄電池やシステムの試験評価が可能な蓄電池評価センター(NLAB)の利用促進に向けた連携や、関西国際空港での水素アプリケーション関連実証の取り組み、来年9月に開催を検討している大阪府主催の国際カンファレンス、中小企業の皆さまの参入を後押しする各種支援施策などをご紹介します。

ポスターセッション・交流会

技術シーズ発表会において発表した技術シーズや産学官連携事例紹介などのポスターセッションを行います。くつろいだ雰囲気の中で情報交換や質疑、交流を図り参加者の皆様にとって 技術連携・産学連携・産産連携など“さまざまなきっかけ”をつくる良い機会として本交流会をご活用ください。

ポスターセッション・交流会への参加費は、有料(1,000円)とさせていただきます。

技術シーズ発表会

2F 鳳凰の間 東・西 15:50~17:02

新たな産業・技術の創出を目的とした『新産業育成分野』分科会と地域資源を活用した『地域資源活用分野』分科会の二つの分科会にわかれ、ショートプレゼン方式による「技術シーズ発表」及び「産学官連携事例紹介」等を行います。

『新産業育成分野』分科会 鳳凰の間 東

発表等の概要

技術シーズ発表

- 15:51~15:59 食品を科学する「フードサイエンス」への取り組み**〔和歌山県工業技術センター 食品産業部 加工技術グループ〕
多様化する消費者ニーズに対応した新たな加工技術の開発には、食品に対する科学的な視点(フードサイエンス)が重要となります。当センターでは、県内食品産業への支援を強化するため、フードサイエンスの視点から新しい加工技術の開発に取り組んでいます。本発表では、これまでに実施している取り組み事例をご紹介します。
- 16:00~16:08 ウメ「露茜」の赤色を活かした新たな食品素材の開発**〔和歌山県工業技術センター 食品産業部 分析評価グループ〕
「露茜」は、追熟に伴い果皮および果肉が赤色に着色するという、従来のウメにない特徴を持つ新品種です。この赤色を活かした食品素材の開発が望まれています。退色による商品価値の低下がしばしば問題となります。そこで当センターでは、色の安定性を高める加工法について検討しており、本発表ではシート状食品素材の開発についてをご紹介します。
- 16:09~16:17 果実の特性を活かした新食感ジャムの開発**〔和歌山県工業技術センター 食品産業部 加工技術グループ〕
果実には、複数の成分が含まれています。同じ果実でも、加工方法を工夫し、これらの内在成分の相互作用を制御することで、最終製品にさまざまな特性を与えることができます。今回このような発想から、梅に含まれるペクチンに着目し、そのゲル化能を調整することで、従来品に見られない特徴を備えたジャムを開発しました。本発表ではこの取り組みの一部をご紹介します。
- 16:18~16:26 ミドリムシの新たな食品用途に向けた開発**〔和歌山県工業技術センター 生活産業・環境部 繊維皮革グループ〕
パラミロンは、ミドリムシ(ユーグレナ)の体内に生産する多糖類であり、水中で加熱することでゲルを形成することが知られています。当センターでは、パラミロンゲルの物性を制御できる製造技術の開発を行うことで、様々なゲル状食品への応用展開を目指しています。本発表では、この取り組みの一部をご紹介します。
- 16:27~16:35 研究開発シーズになる高機能移動プラットフォーム**〔国立大学法人和歌山大学 システム工学部 光メカトロニクス学科〕
段差や複合的な斜面などの不整地を移動できる搭乗可能な移動プラットフォームをロボティクス技術を駆使して開発しました。その技術内容と応用可能性についてをご紹介します。
- 16:36~16:44 波面センサーによる位相計測と形状計測への応用**〔国立大学法人和歌山大学 システム工学部 光メカトロニクス学科〕
光波の位相計測手法であるShack-Hartmann波面センサーの広ダイナミックレンジ化手法をこれまで提案してきました。本発表では、その原理・実証結果と光学素子の形状計測への応用についての現状をご紹介します。
- 16:45~16:53 脳波を用いた意思伝達装置**〔学校法人近畿大学 生物理工学部 医用工学科〕
本装置は「はい」または「いいえ」の意思伝達に、主に左または右の腕の運動をイメージすることで生じる2種類の脳波を使います。その運動イメージの際、腕を動かすことはありませんが、左右の大脳半球それぞれの運動野で異なる脳活動が起こり、それが脳波の変化となって現れます。そこで、「はい」のときは左腕、「いいえ」のときは右腕の運動をイメージすることに決めておくことで意思を伝えることが可能になります。

事例紹介

- 16:54~17:02 サービス革新する営業業務支援システム**〔株式会社宮崎エンジニアリング〕 第23回インフォフェア和歌山
ITを使っているものの、あまり効果が上がらない。そんな組織をよく見かけます。それを解決するのは、発想とそれを実現する技術です。徹底的に業務改善と顧客満足度を上げて、革新的なサービスを提供できる営業業務支援システムの構成例をご紹介します。これは全て、独自開発の技術によるものです。

『地域資源活用分野』分科会 鳳凰の間 西

発表等の概要

技術シーズ発表

- 15:51~15:59 木質ナノカーボン産業 ~和歌山大学の取組み~**〔国立大学法人和歌山大学 システム工学部 精密物質学科〕
林業とナノテクノロジーを融合した環境配慮型産業の発展による地域の活性化を図っています。森林資源をナノカーボン化する技術と、得られたナノカーボン材料をX線を使って操作する技術を紹介します。
- 16:00~16:08 多波長近赤外光を用いた3次元計測法**〔国立大学法人和歌山大学 システム工学部 光メカトロニクス学科〕
波長が異なる複数の近赤外線光源と複数のカメラを用いマルチベースラインステレオ法と照度差ステレオ法を統合して動的な物体の3次元計測を実現する方法について紹介します。
- 16:09~16:17 エコフィードを活用した霜降り豚肉生産技術**〔学校法人近畿大学 生物理工学部 食品安全工学科〕
エコフィードとは余剰食品、食品製造副産物等に由来する飼料で、食料・飼料自給率の向上や農家の経営安定化、さらには循環型社会の実現に期待されている。もともと食品残渣給与では低品質豚肉しか生産されなかったが、発表者らの栄養・飼料研究により高品質豚肉生産が可能となった。本技術を応用すると、发育良好で、豚肉が牛肉のように霜降り状になり、牛肉と比べると脂肪分は格段に少なく、食味としては軟らかくて風味が良く、多汁性に優れたものになります。
- 16:18~16:26 県産農産物を利用した肥満予防・改善効果**〔国立高専機構和歌山工業高等専門学校 物質工学科〕
肥満はメタボリックシンドロームやその他の生活習慣病の病態に大きく関与し、その最大の要因であり、予防・改善策が求められている。近年、肥満に対して予防・改善効果を示す成分が食品中から見だされており、それらの研究が盛んに行われている。本研究では和歌山県産農産物の肥満予防効果について紹介します。
- 16:27~16:35 シングルマスター・マルチスレーブに対応したローコストなデジタル信号多重伝送方式の提案**〔国立高専機構和歌山工業高等専門学校 電気情報工学科〕
マイコン同士の通信には一般にCAN、LINなどの組込み用ネットワークが使用されるが通信の最高速度はせいぜい20kbpsであり、OA機器や産業機器には適さない。本技術では4MHzでFSK変調したシリアル通信によりデジタル信号をシングルマスター&マルチスレーブに対応した双方向通信をDC電源線に低コストで多重伝送が可能なシステムを提案します。

産学官連携事例紹介

- 16:36~16:44 紀州うめどり機能性向上技術開発**〔和歌山県畜産試験場養鶏研究所〕
「紀州うめどり」は、脱塩濃縮した梅酢を飼料添加し飼養した本県のブランド鶏で、加熱時の鶏肉独特の臭みが少ないのが特徴である。研究の結果、紀州うめどりの肉に含まれる臭み成分の量は、一般の鶏肉より50%少ないということがわかりました。

事例紹介

- 16:45~16:53 「知財総合支援窓口」の活動**〔一般社団法人和歌山県発明協会〕
当協会は発明の奨励、青少年の創造性育成及び知的財産権制度の普及啓蒙を行うことを主な業務としている。平成23年度から「知財総合支援窓口」を設置し、知財コーディネーター3名により、開発製品に関わる技術やデザイン、商標の保護等中小企業等が経営の中で抱える知的財産に関する悩みや課題等の無料相談を受け、解決支援を図っている。その活動状況や支援事例について報告します。
- 16:54~17:02 見守り事業のノウハウを活用した事業拡張事例**〔M2Mテクノロジーズ株式会社〕 第23回インフォフェア和歌山
見守りサービス絆・ONEで培ったノウハウを使った、建設業、多店舗展開事業向けVPN接続サービスと見守りボタンを利用した駐車場空情報配信サービスをご紹介します。

*分科会タイムスケジュールは予定であり、予告なく変更する場合があります。 *質疑応答は行いません。

タイムテーブル

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
鳳凰の間 東 2F			受付 [12:00~13:00]	総事業 説明 挨拶	基調講演 事例に学ぶ知財活用 ~成功事例・失敗事例~ [13:20~14:30]	休憩	耳寄りな 情報のご紹介 [14:40~15:40]	受付	新産業育成分野 分科会 [15:50~17:02]
鳳凰の間 中 2F	第23回 インフォ・フェア in わかやま「WAKASAインテックメッセ」〔同時開催〕 [10:00~16:00]								
鳳凰の間 西 2F								受付	地域資源活用分野 分科会 [15:50~17:02]
鳳凰の間 東前 2F				知的財産相談 (一般社団法人和歌山県発明協会) 技術相談 (和歌山県工業技術センター) 開発支援相談 (公益財団法人わかやま産業振興財団) 一産学官連携・技術連携・補助金等一					
孔雀の間 東 3F								受付	ポスター セッション 交流会 [17:20~18:20]

相談ブース 2F 鳳凰の間 東前 13:00~17:00

知的財産相談(一般社団法人和歌山県発明協会)

一般社団法人和歌山県発明協会の知財コーディネーターが、知的財産(特許、実用新案、商標、意匠など)のご相談をお受けします。

技術相談(和歌山県工業技術センター)

食品、繊維、プラスチック、木材・木製品、皮革、漆器、機械金属、電子、化学、薬事などの製造業について、あらゆる技術的なご相談をお受けします。

開発支援相談 一産学官連携・技術連携・補助金等一 (公益財団法人わかやま産業振興財団)

公益財団法人わかやま産業振興財団のコーディネーターが、産学官連携・技術連携をはじめ、研究開発に必要な様々な経営課題に対して、ご相談及び支援策の紹介を行います。

第23回インフォ・フェア in わかやま 「WAKASAインテックメッセ」〔同時開催〕

2F 鳳凰の間 中 10:00~16:00

『最先端のIT技術』を来場者に体験・実感していただくことにより、和歌山県内の情報系企業の新技術・情報と新製品を紹介するとともに、技術交流による地域の活性化を推進することを目的に開催いたします。

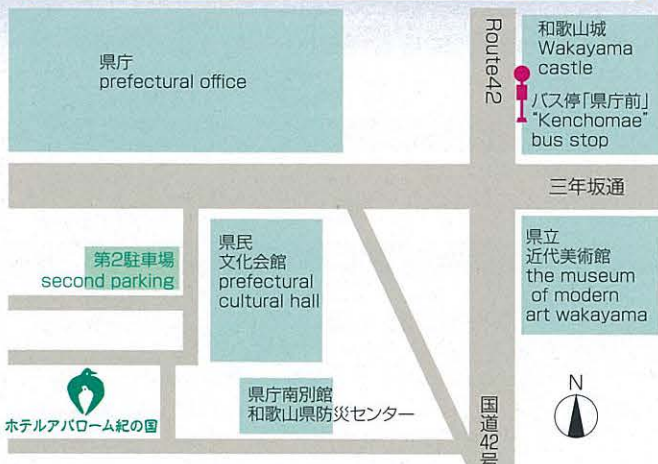
和歌山情報サービス産業協会

- ① 紀州技研工業株式会社
- ② 和歌山ゼロックス株式会社
- ③ 株式会社テレビ和歌山
- ④ 株式会社宮崎エンジニアリング
- ⑤ 株式会社エスアールアイ
- ⑥ 近畿大学生物理工学部
- ⑦ 和歌山大学システム工学部
- ⑧ M2Mテクノロジー株式会社
- ⑨ 阪和電子工業株式会社
- ⑩ アイレス電子工業株式会社

会員企業出展ブース



会場周辺地図



お申込み・お問い合わせ



テクノ振興部 テクノ振興班
和歌山市本町二丁目1番地 フォルテワジマ6階
TEL 073-432-5122
FAX 073-432-3314
E-mail tk7@yarukiouendan.jp

参加申込締切日

平成27年11月2日(月)